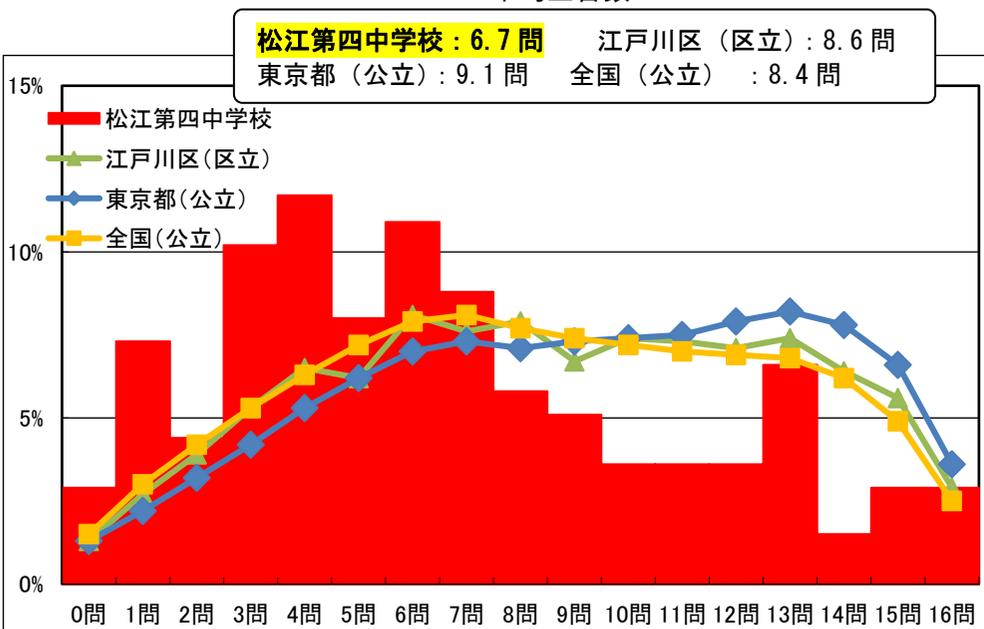


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 松江第四中学校

正答数分布

平均正答数

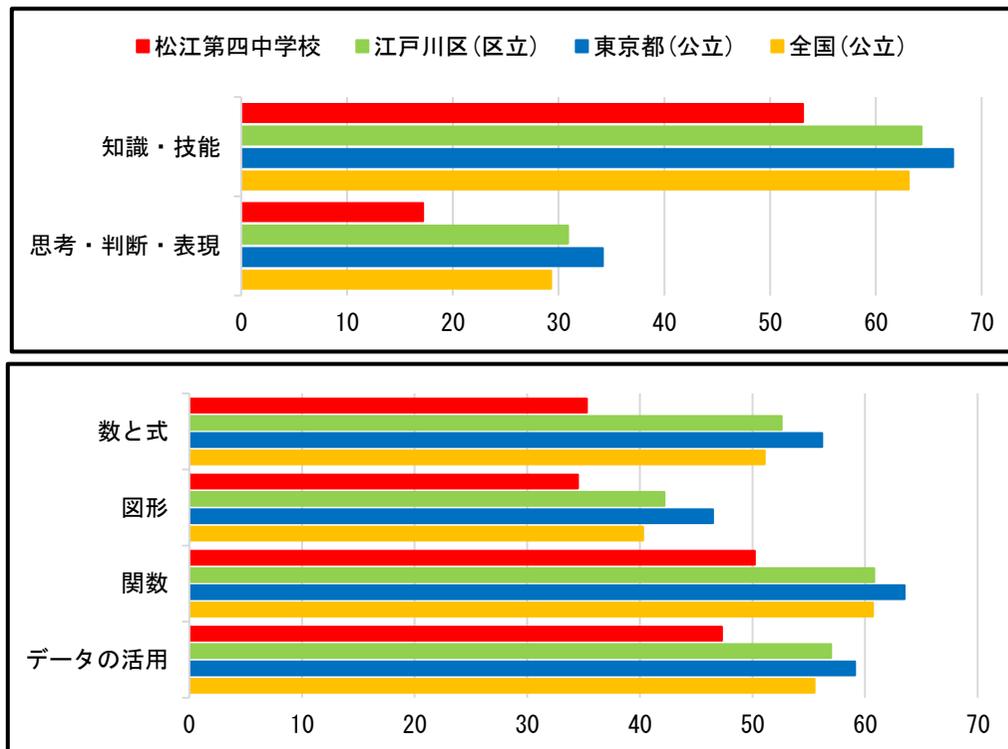


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上 位 ← 下 位			
	A層 13~16 問	B層 9~12 問	C層 6~8 問	D層 0~5 問
松江第四中学校	13.9	15.9	25.5	44.5
江戸川区(区立)	22.3	28.5	23.6	25.6
東京都(公立)	26.2	30.1	21.4	22.3
全国(公立)	20.4	28.5	23.7	27.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

松江第四中学校	42%
江戸川区(区立)	54%
東京都(公立)	57%
全国(公立)	52.5%
都との差	15ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

数学科全体として、東京都および全国の平均を下回っている。都平均と比較したときに、全体での差-15ポイントを基にすると、「数と式」領域では-20.9ポイントと、特に差が大きくなっている。また、観点で見たときに「思考・判断・表現」の項目も東京都および全国平均と比較して-17ポイントの差がある。今後の指導については、ミラシードや単元テストを活用して反復学習を重点的に行い、基礎的な技能の定着を図りたい。